

一目でわかる今年のしごと

～わかりやすい令和8年度河北町予算説明書～



河北町

はじめに

町では、10年間のまちづくりの指針となる「第8次河北町総合計画(令和3~12年度)」を策定し、町の将来像を「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」、将来目標人口を16,600人として、その実現に向け次の5つの目標を掲げています。

- 1 つながりを生む住みよい町
- 2 みんなで支えあう安全・安心な町
- 3 地域とともに健やかに暮らせる町
- 4 新たな魅力を発信しにぎわいのある町
- 5 ふるさとに学び次代につなぐ町

第8次河北町総合計画後期基本計画の初年度となる令和8年度は、次の3点を重点施策として町政を運営してまいります。

- 1 住むならかほく、安全・安心の基盤づくり
地元回帰促進住宅開発事業の促進、持家住宅購入支援の拡充、
べにのすけタクシーの土日祝日運行実施、高齢世帯のエアコン購入支援
など
- 2 産業振興と農商工観光連携
「温泉×農」で実現するかほくアグリ・リトリート事業の推進
(べに花温泉ひなの湯第3号源泉掘削及び交流拠点の整備など)
さくらんぼの安定生産対策の実施 など
- 3 次世代につなぐ支援・将来への投資
0~2歳児保育料の負担軽減拡充、こども誰でも通園制度のスタート
など

令和8年度当初予算一般会計の歳入歳出総額は108億1,336万円となりました。この予算と町の仕事などを町民の皆様にお示しするため、ここに『一目でわかる今年のしごと~わかりやすい令和8年度河北町予算説明書~』を作成いたしました。この予算説明書は、町民の皆様から町の様々な施策に理解を深めていただき、町民の皆様と共にまちづくりを進めてまいりたいと考え、作成したものです。今後とも健全な財政運営を堅持しながら町民の目線に立った町政運営、町民主役のまちづくり、チャレンジするまちづくりに一層精進してまいりますので、引き続きご助言、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

令和8年4月

河北町長 森 谷 俊 雄

目 次

◇令和8年度 一般会計予算の概要	4
◇基本目標別主要施策・予算	
1 つながりを生む住みよい町	
(1) 立地条件を活かしたまちづくり	6
(2) 災害に強い快適なまちづくり	11
(3) 若者が選ぶまちづくり	13
2 みんなで支えあう安全・安心な町	
(1) 参加と連携による安全・安心な暮らし	16
(2) 町民総参加によるまちづくり	19
(3) 社会の変化に対応できる行財政運営	22
3 地域とともに健やかに暮らせる町	
(1) オールかほくで応援する子育て支援	25
(2) 互いを尊重し合う福祉のまちづくり	27
(3) 健康に暮らせる保健医療環境の確保	29
4 新たな魅力を発信しにぎわいのある町	
(1) 次代につなぐ農林水産業	32
(2) やる気で稼ぐ仕事おこし	35
(3) 地域の宝を活用した発信	36
5 ふるさとに学び次代につなぐ町	
(1) 家庭・地域と連携した学校教育	38
(2) 地域に根ざした生涯学習	40
(3) 歴史と文化の継承	42
◇グラフでみる令和8年度当初予算	43

令和8年度 一般会計予算の概要

1. つながりを生む住みよい町

(該当ページ)

◇公共交通の利便性を良くする		
高齢者等を対象としたタクシー利用助成	拡充	6
◇ゼロカーボンかほくの実現に向けた取り組みの加速		
再生可能エネルギー設備導入への補助		11
省エネ家電への買い換え等補助	拡充	11
◇若い世代の移住定住を促進する		
移住定住事業の推進	拡充	13
定住促進住宅リノベーション工事の実施		14

2. みんなで支えあう安全・安心な町

◇防災・減災体制を強化する		
警鐘台解体工事の実施	新規	16
空き家の利活用		18
危険空き家対策		18
◇町民総参加によるまちづくり		19
◇町民と町づくりを話し合う機会を創る		19
◇町民サービスを向上し、行政事務を効率化する		
広報活動のデジタル化		21
役場職員の研修		24

3. 地域とともに健やかに暮らせる町

◇切れ目なく子育てを応援する		
かほく安心子育て応援事業		25
保育料の段階的負担軽減・副食費無償化	拡充	25
母子保健事業の充実	拡充	30
◇安心して住み続けられる地域をつくる		
高齢者等を対象としたタクシー利用助成	拡充	(再掲) 6
高齢者世帯の雪下ろし等支援		27
◇健康づくりへの意識を高め、病気を予防する		
各種保健事業・健診体制の充実		29
予防接種事業の充実	拡充	30

総額 108億1,336万円

4. 新たな魅力を発信しにぎわいのある町

(該当ページ)

◇持続可能な農業をつくる

新規就農者への支援の充実	32
さくらんぼ安定生産への総合的な支援	32
枝豆・大豆栽培への補助	33

◇チャレンジする人を応援する

起業や雇用促進への支援	35
-------------	----

◇にぎわい創出と魅力発信

児童動物園放鳥舎壁面修繕工事の実施	新規	36
べに花温泉ひなの湯第3号源泉掘削工事の実施	新規	36

5. ふるさとに学び次代につなぐ町

◇社会の変化に対応し、未来を生き抜く子どもを育む

学校給食費の全額助成	38	
ICT教育の推進	39	
谷地高生への就学・学習・通学の各種支援	拡充	39

◇生涯学習環境を充実し、豊かな日常を楽しむ

かほく町民大学ひなカレッジの開校	40	
休日部活動の地域展開の推進	新規	41
サハトべに花における文化事業の開催	42	

1 つながりを生む住みよい町

(1) 立地条件を活かしたまちづくり

町営路線バスの運行とタクシー利用助成制度

事業費4,867万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

町営路線バスは、自分で車を運転できない高齢者などの移動手段の確保を目的に、平成11年9月に運行を開始しています。停留所に限らず路線内のどこでも乗り降りが可能なフリー乗降制度を取り入れています。料金は、大人200円、高校生以下の方と75歳以上の方等は100円で、よりお得な回数券や定期券を販売しているほか、運転免許を自主返納した65歳以上の方には、申請により更新して使用できる町営路線バス定期券を無料交付しています。

また、タクシー料金の一部を助成し公共交通としてタクシーを活用することで、自宅から目的地までドア to ドアでより利便性を高めるタクシー利用助成を行います。(べにのすけタクシー)

さらに、昨年度策定した河北町地域公共交通計画に基づき、「通学」「通院」「観光」を支える移動手段を基本方針として定め、その実現に向けた目標を達成するため、今後さまざまな施策を展開していきます。大きな施策の一つとして、令和8年度から、これまで平日のみ運行していたべにのすけタクシーを土日祝日も運行するよう拡充し、その利便性の向上を図ります。

主な経費

運行業務委託費	3,486万円
タクシー利用助成委託	1,225万円
地域公共交通経費	156万円
など	



河北町路線バス

地方バス路線への補助 事業費834万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

定期バス路線「寒河江～河北病院」線は、通院や通学などの生活路線として利用されていますが、乗車人数が少なく不採算路線となっています。町は、沿線自治体とともに生活に密着したバスの運行維持に努めます。

主な経費

バス事業者への補助金	834万円
------------	-------

高校生等通学助成事業 事業費150万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

谷地高校に通学する生徒と町内高校生等の通学費用の負担軽減を図るとともに地方バス路線の維持に資するため、地方バス路線の通学定期券を購入した方に補助金を交付します。

主な経費

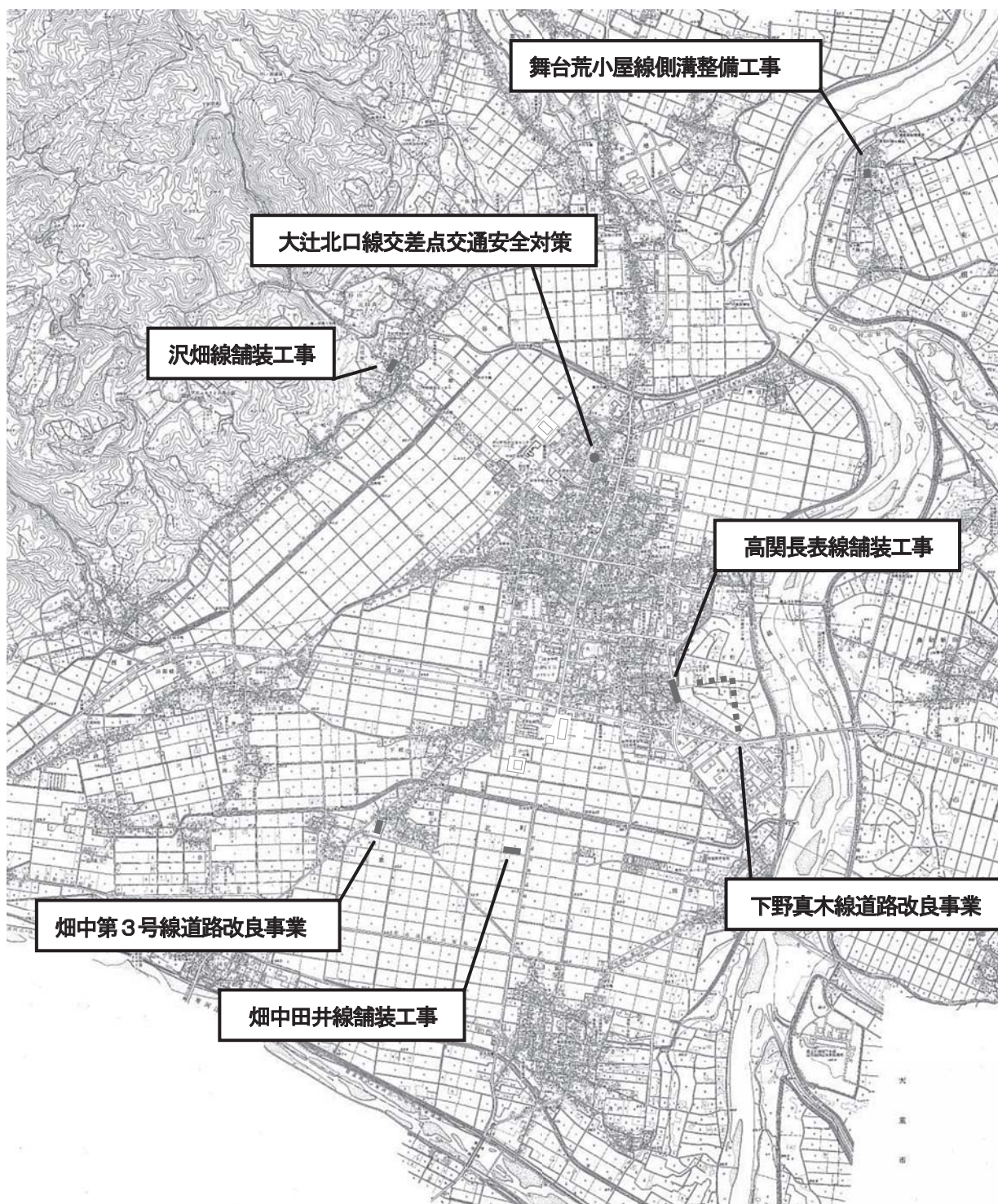
通学定期券購入補助金	90万円
谷地高生の通学定期券購入補助金	60万円

町道整備事業

事業費13,824万円

都市整備課都市整備係

道路の安全性や利便性の向上を図るため、国の補助制度や優良な起債などを活用しながら、道路の整備に取り組んでいます。令和8年度の実施予定箇所は下記のとおりです。



※国の予算配分等により変更が生じる場合があります。

給水事業

事業費5億1,267万円

上下水道課水道工務係

町の水道水のほとんどは、山形県村山広域水道（西川浄水場）の浄水を「両所配水池」で受水し、そこから町全域に配水しています。また、自己水源の「治部橋水源地」からも一部取水し、配水しています。町民のみなさんに安全で安定した水道水を供給するため、施設の保守点検や修繕、水質検査を行い水道水の安全性を確保しています。なお、今年度は、国の「重点支援地方交付金」を活用して、水道の基本料金2カ月分2,700万円程度を減免します(ただし、官公署など一部対象外があります)。

主な経費

施設の維持管理・修繕費	9,255万円
県水の購入費	1億7,786万円
水道料金の検針、賦課及び徴収費	5,412万円
減価償却費	1億2,855万円
借金の返済	5,959万円

※減価償却費とは、固定資産の取得原価を法令で定められた耐用年数に配分した費用です。

配水管等整備事業

事業費9,336万円

上下水道課水道工務係

水道施設は、生活に欠かせない重要なライフラインであり、新たに水道配水管を布設する場合や老朽管を更新する場合は、地震に強い水道配水管（耐震管）を使用しています。

今年度は、桜町西地区で新設工事、上工・六供・大辻地区及び若葉町地区では更新工事、4区地区において切回し工事を行い、さらに上工地区の消火栓取替工事を予定しています。

主な経費

工事費（繰越明許費）	6,758万円
工事費	1,494万円
測量調査費等	1,084万円

上工・六供・大辻地区【繰越明許費】



若葉町地区



4区地区



桜町西地区



下水道整備事業

事業費2億2,742万円

上下水道課下水道工務係

下水道は、快適な生活環境と河川の水質保全のため、家庭や工場などから排出された汚水を集約し、下水処理場（山形県村山浄化センター）できれいに処理した後、最上川へ放流しています。町では、昭和55年に下水道事業に着手し、以降、下水道整備区域を拡大し整備を進めてきました。令和8年度は、谷地及び溝延地区の下水道整備を行い、また、下水道施設の老朽化対策として、マンホールポンプ場・マンホール蓋の改修及び管路・マンホールの調査点検を行います。

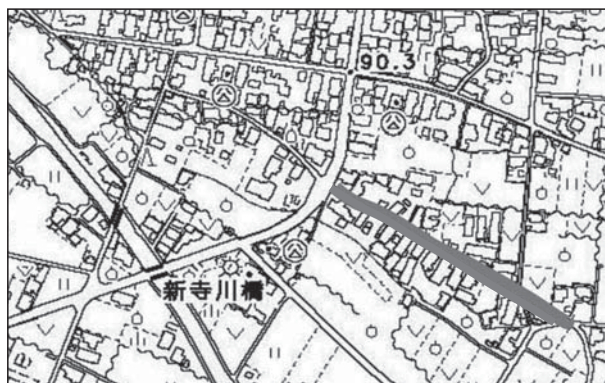
主な経費

工事費（繰越）	1億円
工事費	1億416万円
補償費	1,518万円
	など

若葉町地区



11区地区



4区地区



※各地区の工事場所は現時点での予定であり、国の予算配分等により変更になる場合があります。

浄化槽整備事業

事業費461万円

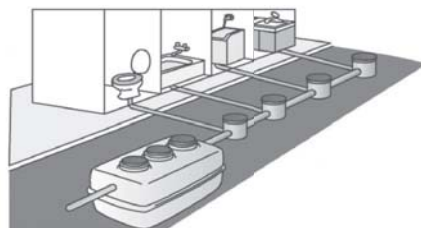
上下水道課下水道工務係

生活排水による河川や水路等の水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、下水道事業計画区域及び農業集落排水処理区域以外の区域で、くみ取り槽または単独浄化槽を合併処理浄化槽へ転換する工事（建替含む）に対して補助金を交付します。

主な経費

浄化槽設置整備事業補助金など 461万円

環境にもやさしい合併処理浄化槽



出典イラスト：「環境省 浄化槽サイト」

農業委員会活動費

事業費1,228万円

農業委員会事務局農地係

農業委員会は、農地法などに基づく法令業務や、地域の農業振興と農業者の意見の反映のための活動を行っています。令和7年度の改選により任命された、農業委員12名と、農地利用最適化推進委員5名で活動しています。

農業者の高齢化、担い手の減少により、農地の荒廃化が懸念されます。不法投棄や無断転用を防ぐためにも、農地パトロールを毎年実施するほか、荒廃した農地を再生し耕作する意欲のある担い手に補助を行うことで優良農地の確保に努めます。

次世代に農地を引き継いでいくため、農地のあっせんや担い手へ農地の集積を進めていくよう農地の利用調整に努めます。

また、農業の制度を学び、情報収集を行うことで町の農業の振興に活かすため、農業委員等の研修にも積極的に参加していきます。

主な経費

農業委員報酬	321万円
農地利用最適化推進委員報酬	90万円
農地台帳整備費	288万円
農地中間管理事業事務	286万円
農地利用状況・意向調査費	37万円
河北町農地リフレッシュ&アクション 事業費補助金	110万円

《河北町農地リフレッシュ&アクション事業》



再生前



再生中



営農開始

(2) 災害に強い快適なまちづくり

環境衛生の向上

事業費913万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

町内全108区に衛生指導員を委嘱し、地区内の公衆衛生環境を保全します。全地区で構成する衛生組合協議会の生活環境の保全に係る活動に対して補助を行います。

地域の衛生向上のため、地区が側溝汚泥の土砂あげを行う際には、事前に放射能濃度測定等を行ったうえで、適正に土砂の処分を行います。

適正な飼養を行うことができない猫及び飼い主のいない猫の増加を防止し、生活環境の向上を図るため、猫の不妊・去勢手術費の一部を補助します。

主な経費

衛生指導員謝礼	56万円	不法投棄物巡回、啓発、処理	194万円
衛生組合協議会への補助金	9万円	猫の不妊・去勢手術費への補助金	55万円
汚泥放射能測定等手数料	103万円		など
側溝等土砂収集運搬・処理処分委託	319万円		

地球温暖化防止・ゼロカーボンの推進

事業費891万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

家庭等における再生可能エネルギーの導入を促進し温室効果ガス排出量の削減を図るため、太陽光発電設備、蓄電池設備設置及びバイオマスストーブの設置に対し補助します。さらに、省エネルギー住宅等への支援として、断熱窓にリフォームする費用の一部を補助します。

物価高騰による各家庭におけるエネルギー費用負担の軽減と省エネ家電製品普及によるゼロカーボンへの意識啓発のため、省エネ家電への買い換えに係る費用の一部を助成します。また、熱中症による健康被害を防止するため、エアコンを未設置の高齢者のいる世帯については、省エネエアコンの購入に係る費用の一部を助成します。

自然環境の保護、循環型社会の形成などを図るため、河北町環境保全町民会議と共催して環境フェアの開催、雑がみ回収や小型家電・古着の回収を行い、ごみ減量化を図ります。

生ごみ処理機（電気式・コンポスト・密閉式）の購入費用の一部を助成します。

主な経費

再生可能エネルギー設備及び省エネルギー設備設置に対する補助金	515万円
資源回収報奨金	70万円
生ごみ処理機購入補助金	9万円
省エネ家電買い換え等支援補助金	75万円
環境フェア・雑がみ回収等事業	88万円
熱中症対策啓発事業	3万円
	など



環境フェア体験学習

河川の維持管理

事業費1,659万円

都市整備課管理係

河川の草刈や清掃を行い、防災対策とあわせて環境美化に努めています。また、排水樋門の点検や操作を行い、地区内への流水の確保と増水時の浸水予防を行います。さらに、国からの委託事業として渋川・新田川排水機場に運転員を配置し、最上川の増水時に備えています。

主な経費

河川維持費	683万円
排水機場維持管理費	976万円

町道の除雪・消雪

事業費9,186万円

都市整備課管理係

冬期間の産業経済活動と町民生活の安定を図り、雪に強く住みやすい交通基盤環境を確保するため、町道の除排雪作業を実施し、また、道路の消雪設備の維持管理を行います。

主な経費

道路除雪費	8,316万円
消雪道路維持費	870万円

ごみ処理

事業費2億582万円

くらし応援課生活環境・GX推進係

東根市、村山市、天童市と組合を構成し、市町内から排出される廃棄物を共同の施設で処理しています。処理経費については、構成市町ごとのごみ・し尿の排出量などをもとに計算され、負担金として各市町が支出します。

区（町内会）管理のごみ収集所は、雨ざらしなどで収集や衛生上の問題も起こることから、衛生的な管理を行うため、ごみ収集所の整備をした場合に補助金を交付します。

ごみの適正処理のため、分別方法、処理方法を詳細に記載したごみの分け方出し方ハンドブック（令和3年度発行）を更新し、全世帯に配付します。

主な経費

東根市外二市一町共立衛生処理組合負担金	2億437万円
ごみ収集所整備補助金	15万円
ごみ収集日程表印刷	29万円
ごみの分け方出し方ハンドブック更新	100万円



クリーンピア共立内 リサイクルセンター

(3) 若者が選ぶまちづくり

かほく発信事業

事業費9,698万円

商工観光課かほく発信・ブランド推進係

首都圏及び仙台において、河北町産の農産物や特産品を扱った物産展、河北町の食をテーマとしたイベントやふるさと納税に関連するイベントに参加し、河北町の魅力発信・ブランド推進に努めます。

主な経費

イベント参加に関連する経費	221万円
かほく魅力発信事業委託料	266万円
	など



かほく魅力発信Night
(東京大学駒場リサーチキャンパス内)



山形県河北町観光物産展
(仙台中央郵便局)

移住定住推進事業

事業費2,584万円

くらし応援課移住・定住・交流推進係

東京圏からの移住者に対する移住支援金の支給や、町外から住宅を購入して移住する方への移住定住促進事業費補助金（最大130万円）の子育て世代への拡充や各種支援を実施し、移住される方の生活をサポートします。

また、二地域居住促進に向けた実証事業への参画や、首都圏で開催する移住検討者向けの相談会で、町の魅力や支援制度を広くPRすることで移住・定住の推進を図ります。

主な経費

移住定住促進のための各種助成	1,760万円
移住相談会関連経費	76万円
二地域居住促進実証事業経費	22万円
	など



移住相談会

公園の維持管理

事業費6,905万円

都市整備課管理係

都市公園を安全に安心して利用できるように施設遊具点検・修繕（照明灯更新など）、除草、樹木等の管理を行います。
また、令和8年度は河北中央公園のいもこ列車枕木交換工事を実施し、町内のイベントに合わせて一般公開を行います。

主な経費

都市公園費	3,690万円
いもこ列車事業費	59万円
いもこ列車枕木交換工事（繰越明許費）	1,150万円
	など



いもこ列車一般公開

住環境整備事業

事業費2,961万円

都市整備課管理係

■持家住宅促進事業費補助金

居住環境の整備と町内の建築関連業界の振興と雇用の拡大による景気浮揚を目的に住宅改修への補助を実施します。

■住宅耐震化への補助

河北町建築物耐震改修促進計画を基に、民間住宅等の耐震診断と改修に補助をしています。

主な経費

持家住宅促進事業補助金	2,800万円
耐震診断委託料	81万円
	など

定住促進住宅の管理

事業費3,320万円

都市整備課管理係

■持家住宅促進事業費補助金

修繕計画に基づき、計画的に修繕を行います。令和8年度は2号棟のベランダ防水工事を行います。そのほか、令和6年度に実施した若者回帰に向けたリノベーション工事を令和8年度も推進していきます。

主な経費

修繕料	245万円
工事請負費	2,531万円
	など

地元回帰促進住宅開発事業

事業費40万円

くらし応援課移住・定住・交流推進係

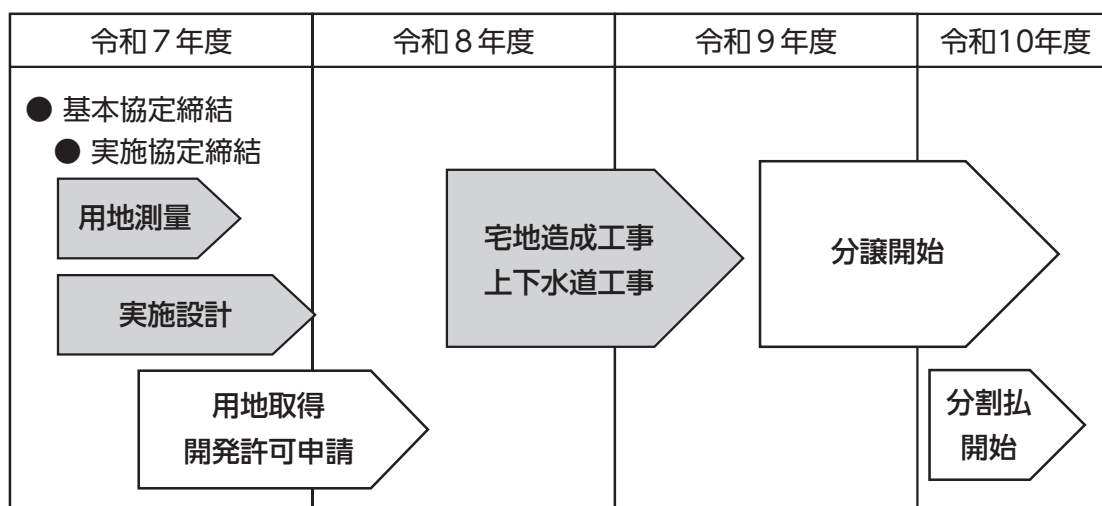
旧河北町民プール跡地を活用した宅地造成事業を進め、若者や子育て世帯に魅力ある住環境を整備することで地元回帰の流れを促進させます。

事業の実施については、専門的なノウハウを持つ山形県住宅供給公社と協定を結び事業を代行してもらう「公社立替施行制度」を活用することで事業の良質な品質管理を確保し、分割払いによる財政負担の平準化を図ります。

令和8年度は、用地取得、宅地造成工事、上下水道工事等を行います。

主な経費

開発行為手数料 40万円



事業全体スケジュール

2 みんなで支えあう安全・安心な町

(1) 参加と連携による安全・安心な暮らし

地域防災費

事業費6,917万円

防災危機管理課防災危機管理係

町民の生命、身体及び財産を災害から守るため、防災・減災力の強化に努めます。防災施設の維持・機能充実、防災ラジオの配付、災害発生後の避難生活に必要な資機材や食料の計画的な備蓄を継続して進めます。また防災専門員を配置し、自主防災会の育成と防災訓練の指導にあたり、地域防災力の強化を図ります。

主な経費

防災専門員報酬等	296万円
山形県衛星通信システム第3世代化工事負担金（繰越）	1,454万円
避難所環境整備事業（繰越）	4,217万円
備蓄食料購入	75万円
など	



自主防災組織と連携した避難所開設訓練

非常備消防(消防団)費 事業費4,299万円

防災危機管理課防災危機管理係

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、消火活動だけでなく、地震や風水害などの災害時には救助、警戒巡視、避難誘導にあたるなど、地域防災力の中核として重要な役割を果たしています。

主な経費

消防団員年額報酬・出勤報酬	2,715万円
消防協会・消防補償等組合負担金	1,125万円
消防団員への謝礼	101万円
など	

消防施設費

事業費822万円

防災危機管理課防災危機管理係

消防施設の機能維持のため、消防施設等の点検修繕を行います。また、老朽化している警鐘台1基を解体します。

主な経費

警鐘台解体工事	179万円
消火栓移転等工事負担金	155万円
修繕料	150万円
など	



春季消防演習 一斉放水

水防費 **事業費99万円**
防災危機管理課防災危機管理係

洪水など水害に備えた巡視や警戒、被害を最小限に抑えるための訓練、資機材の補充など水防体制の強化に努め、河川の氾濫に備えます。

主な経費

排水資機材管理業務委託 **56万円**
など



洪水に備え積み土嚢工法訓練

交通安全対策費 **事業費1,155万円**
防災危機管理課防災危機管理係

交通安全指導員と交通安全専門指導員が連携し、子どもの登校時の街頭指導や高齢者の交通安全指導と啓発に努めます。また、カーブミラーなどの交通安全施設の維持・整備を図ります。

主な経費

交通安全専門指導員報酬等 **285万円**
交通安全指導員謝礼 **575万円**
修繕及び工事費 **145万円**
など



交通安全町民大会

犯罪被害者等支援事業 **事業費42万円**
防災危機管理課防災危機管理係

犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減に向けた取組を推進し、もって犯罪被害者等を支える地域社会の形成を図ります。

主な経費

犯罪被害者等見舞金 **40万円**
など

空き家利活用推進事業 事業費290万円

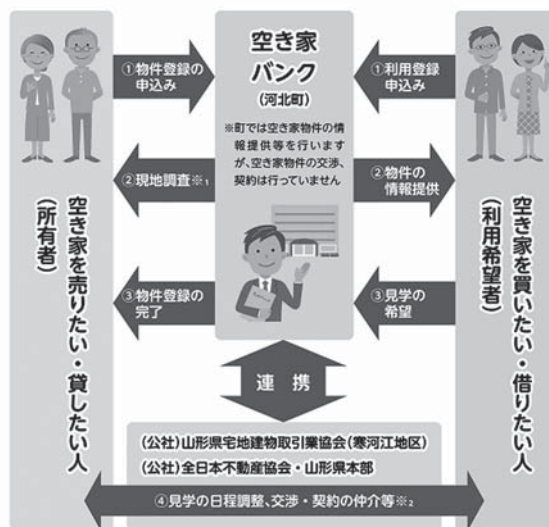
くらし応援課移住・定住・交流推進係

町では、危険な空き家となることを防ぎ、移住者等の受け入れを促進することを目的として、空き家物件の情報提供等を行う「空き家バンク制度」を運用しています。また、空き家の所有者を対象とした家財道具の処分補助や空き家の購入者を対象としたリフォーム補助を実施するなど、空き家の有効活用に取り組みます。

主な経費

空き家利活用支援事業費補助金	240万円
空き家片付け支援事業費補助	20万円
	など

空き家バンクへの登録および利用の流れ



危険空き家等対策費

事業費612万円

防災危機管理課空き家対策室空き家対策係

大切な住まいや土地を未来に引き継ぐため、地図システムによる空き家の状況把握や、専門家と連携した解決支援を強化していきます。また、未来に向けた土地の利活用を後押しするため、空き家解体の補助金制度を継続し、町全体の安全と活力を支えています。

主な経費

空き家等除却事業費補助金	480万円
空き家相談会相談員謝礼	8万円
	など



※画像はイメージです

(2) 町民総参加によるまちづくり

べに花の里づくり事業 事業費 208万円

商工観光課かほく発信・ブランド推進係

町産べに花を使用した作品の企画展、近隣観光地での観光PR、べに花の種のプレゼントやフォトコンテストの実施を通して、べに花にこだわった個性的で魅力的なまちづくりを進めます。

主な経費

べに花作品の企画展開催	90万円
べに花キャンペーン	65万円
べに花の種プレゼント	42万円
など	



べに花キャンペーン（おいしい山形空港）



来場者へパンフレットとプレゼントを配布

若者・女性・町民総活躍推進事業 町長とまちづくりを語る会

くらし応援課移住・定住・交流推進係

町長と地域の皆さんが、テーマ（課題や魅力等）を基に、まちづくりについて話し合う「まちづくりを語る会」を開催します。

対話を通して、町政への理解を深めていただくとともに、幅広い意見を聴くことにより町民主体のまちづくりを推進します。

（この事業は経費がかかりません。）



令和7年度まちづくりを語る会では「地域公共交通の大切さと、それを地域で考える必要性について～河北町の公共交通の現状とこれから～」をテーマに意見交換を行いました。

まちづくり推進事業

事業費3,012万円

くらし応援課移住・定住・交流推進係

町民、地域（事業者）、行政が一体となった協働のまちづくりが求められており、町民が主体となった地域づくり活動への支援や地域コミュニティの育成を図ります。

■地域振興総合交付金

町民の参加と創意、責任によって誰もが生きいきと輝いて暮らすことのできる地域を形成し、維持していくために、地域振興事業を実施する区に対して地域振興総合交付金を交付します。

■コミュニティ助成事業交付金

町内の地域住民で組織する団体に対し、健全なコミュニティ活動の推進を図るために必要な施設・設備の整備などに対して助成を行います。

■河北町町内会除雪機購入事業費補助

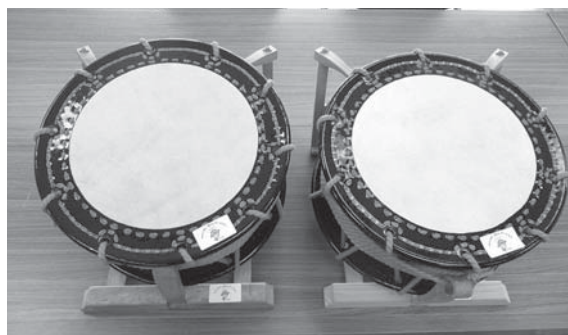
地区における除雪作業は、冬期間における地域の重要課題の一つであることから、雪に強く住みやすい地域づくりのため、町内会の除雪機の購入費用に対して補助金を交付します。

主な経費

地域振興総合交付金	2,403万円
コミュニティ助成事業交付金	550万円
河北町町内会除雪機購入事業費補助金	50万円
など	



コミュニティ助成事業交付金を活用した
公民館のエアコン、締太鼓の整備



広報の仕事

事業費1,133万円

企画財政課広報広聴・統計係

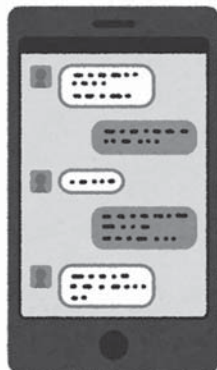
町の重要な施策や新しい制度、まちづくりにかかわる事業などについて、町民のみなさんにわかりやすくお知らせするため、「広報かほく」を月2回発行しています。

町のホームページや、LINE、Instagramを活用して、町内外の方々に町の情報を発信していきます。

町長から委嘱された8人の広報委員の方から、年2回の広報委員会で様々な視点から意見をいただき、よりよい広報紙を目指します。

主な経費

広報かほく発行に関する費用	782万円
ホームページに関する費用	168万円
LINEに関する費用	33万円
ふるさとCM大賞制作費	2万円
など	



LINEの友達登録をお願いします！
暮らしに役立つ情報を発信しています。

河北町長選挙等経費

1,685万円

総務課総務係

令和9年2月4日任期満了の河北町長選挙が行なわれます。選挙の投票立会人などへの報酬、職員の時間外勤務手当、ポスター掲示板の設置経費等を見込んでいます。選挙では、投票日前でも投票できる期日前投票制度がありますので、皆さんの大切な1票を投じてください。

主な経費

選挙管理委員会費	52万円
山形県議会議員選挙費	354万円
河北町長選挙費	1,101万円
河北町議会議員選挙費	178万円

財源内訳

県の負担額	354万円
町の負担額	1,331万円



(3) 社会の変化に対応できる行財政運営

ふるさと応援寄附（ふるさと納税）事業

事業費5億786万円

商工観光課かほく発信・ブランド推進係

ふるさと応援寄附（ふるさと納税）とは、自分の生まれ育ったふるさとの自治体や応援したい自治体に寄附を行う制度です。河北町では、いただいた寄附金の使い道を5つの事業と定め、寄附者が選んだ使い道に沿って各種事業を実施し、寄附者の想いをまちづくりに反映させ、魅力あるふるさとづくりに活用しています。令和7年度に実施した、河北町児童動物園事業やいもこ列車一般公開事業に対するクラウドファンディングも、ふるさと応援寄附事業に該当します。令和8年度の寄附金額は10億円を見込んでいます。

主な経費

ふるさと納税業務委託料	3億8,500万円
その他の経費	1億2,286万円



【ふるさと応援基金使途】※ふるさとづくり寄附事業に要する経費を除く充当額 6億5,669万円

(1) 魅力づくりとにぎわい創出に関する事業	5,819万円
(2) 子育て・教育に関する事業	2億8,809万円
(3) 協働のまちづくりに関する事業	2,528万円
(4) 伝統芸能、地域文化の伝承・育成に関する事業	1,848万円
(5) その他町長が必要と認める事業	2億6,665万円

企業版ふるさと納税寄附事業

事業費41万円

商工観光課地域産業振興係

河北町の地域再生計画にある「河北町まち・ひと・しごと創生推進事業」に対する企業からの寄附を、地元金融機関などとの連携を図りながら受け付けます。

主な経費

手数料	39万円
その他の経費	2万円

河北町食料品等物価高騰対策「かほくほくほく応援券事業」 (令和7年度繰越明許費) 事業費1億8,888万円

商工観光課地域産業振興係

食料品等の物価高騰に対応するため、かほくほくほく応援券を発行することにより、町民の方々の家計への支援及び町内経済の活性化、更には電子版商品券を発行することによる利便性向上を図ることを目的としています。

主な経費

給付費	1億6,600万円
事務費	2,221万円

地域おこし推進事業 事業費1,781万円

くらし応援課移住・定住・交流推進係ほか

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方で、都市地域の人材に移住・定住してもらい、地域への協力活動を行ってもらうことで、地域力の維持や強化を図っていくことを目的とした制度です。

令和8年度は、紅花活用、動物園ブランディング、インバウンド推進などの活動に従事していただく予定です。また、地域おこし協力隊の任期終了後も町内に定住し、新たに起業する元隊員等に対し補助金を交付します。

主な経費

協力隊員の報酬及び活動経費	1,530万円
募集に係る経費	49万円
おためし地域おこし協力隊に係る経費	2万円
地域おこし協力隊起業支援補助金	200万円



町内で活躍する地域おこし協力隊員と
地域活性化起業人

会計事務の管理 事業費1,015万円
会計課会計係

会計課では、公金の適正な収納及び支払い、決算の調製等の事務を行っています。
窓口では各種町税や上下水道料金、町営住宅使用料などを支払うことができます。
さらに、お客様が自ら納付処理を行うことが出来る機器（税公金ステーション）を導入しています。

主な経費

公金事務取扱に関する経費
(町指定金融機関等への手数料) 586万円
税公金ステーションに関する経費
(機器保守委託料・回線等使用料) 90万円
など

広域斎場運営 事業費1,991万円
くらし応援課生活環境・GX推進係

村山市、東根市と広域斎場事務組合を構成し、斎場（火葬場：広域斎場「妙光苑」）を共同で運営しています。運営経費は市町ごとの火葬件数や人口に応じ、負担金として構成市町で支出します。火葬の申し込みは電話でも受け付けています。（火葬許可申請はこれまでどおり窓口での手続きが必要です。）

主な経費

河北町ほか2市広域斎場事務組合負担金 1,803万円
霊柩車の運転業務委託 153万円
など

役場職員の研修 事業費152万円
総務課働き方改革推進係

多様化するニーズに迅速に対応し、住民サービス向上のための研修を効果的に行い、専門的知識の習得と職員の資質向上を進めます。
また、あらかじめ設定したテーマについて職員チームで研究する自主研修や、業務に役立つ知識、技能に関する資格取得の支援を行います。

主な経費

研修、視察等の旅費 80万円
研修負担金 52万円
など

経済センサス活動調査 事業費103万円
企画財政課広報広聴・統計係

6月1日を基準日として、全国のすべての事業所・企業を対象に実施される、5年に一度の大規模な基幹統計調査です。
全産業分野の売上高や経理項目を網羅的に把握し、日本経済の構造を全国・地域別に明らかにすることを目的としています。総務省統計局と経済産業省が所管し、調査結果は行政施策や企業の経営計画策定に活用されます。

主な経費

調査員などの報酬 72万円
など

3 地域とともに健やかに暮らせる町

(1) オールかほくで応援する子育て支援

かほく安心子育て応援事業

事業費2,350万円

こどもみらい課子育て支援係

令和3年度から新たな町独自の子育て支援策として、経済的負担が大きくなる出生時に10万円、小学校入学時、中学校入学時にそれぞれ5万円を支給しています。

さらに、令和4年度から支援の対象を拡大し、より大きな経済的負担が伴う高校入学時等(就職・浪人等含む)に5万円を給付し、子育て世帯を経済的に応援しています。

主な経費

かほく安心子育て応援事業給付金 2,350万円

保育料軽減事業・副食費無償化事業

事業費4,511万円

こどもみらい課子育て支援係

3歳未満のお子さんの保育料は、市町村民税非課税世帯のほか、町独自の子育て支援策として第3子以降のお子さんを対象に無償としています。このほか、国の無償化制度の対象とならない一部の所得階層のお子さんについては県事業により段階的に無償化を実施してきましたが、町独自の子育て支援策として保育料の負担を軽減する対象を広げています。

また、3歳以上のお子さんの副食費については、町独自の子育て支援策として第3子以降のお子さんを対象に無償としていましたが、令和6年度より3歳以上のお子さん全員の副食費を無償化しています。

主な経費

認定こども園運営委託料	3,394万円
町外特定教育・保育施設運営委託料	17万円
特定教育・保育施設運営委託料	258万円
地域型保育給付事業費扶助費	742万円
保育料無償化に向けた段階的負担軽減(幼稚園分)補助金	34万円



ひなのこども園

届出保育施設等の支援など

事業費828万円

こどもみらい課子育て支援係

届出保育施設等を利用する0歳～2歳児について、保護者に対して町で規定する保育料との差額を支援することにより、認可施設と同じ保育料で利用することができます。また、施設に対しては、県の補助に町が上乘せする形で支援を継続し、子育て支援を推進していきます。

主な経費

届出保育施設等すこやか保育事業費補助金 828万円

子育て支援センター費

事業費1億1,094万円

こどもみらい課総合子育て支援センター、かほくあい子育てセンター、ひなの子育てセンター

子育て家庭を支援するため、「総合子育て支援センター（どんがホール内）」「かほくあい子育てセンター・ひなの子育てセンター（各こども園に併設）」では、子育て相談、遊びの場や子育て情報の提供、親子イベントを行っています。病後児保育施設「すくすく」「のびのび」は、病気やケガの回復期にある6か月から小学3年生までのお子さんの預かりを実施しています。また、かほくあい子育てセンターでは令和7年度より6か月から就学時までの一時預かり事業を行っています。どちらも子育てアプリ「ひなっこ」での予約ができます。

NPO法人河北子育てアドバイザーセンターに、つどいの広場、一時預かり促進事業、多目的子ども空間、ファミリーサポートセンター事業の運営を委託しています。

主な経費

子育て支援センター運営費など	8,627万円
つどいの広場運営委託・一時預かり促進事業委託料	601万円
多目的子ども空間運営委託料	287万円
ファミリーサポートセンター業務委託料	277万円
など	



子育てイベント「親子で絵馬づくり」

福祉医療に対する給付事業

事業費1億2,493万円

税務町民課国保医療係

高校3年生世代までのお子さん、一定の障がいのある方、ひとり親家庭等に対し、医療機関を受診する際の医療費の自己負担分について、全部または一部を助成し福祉の増進を図ります。

主な経費

子育て支援医療給付事業費	7,298万円
重度心身障がい(児)者医療給付事業費	4,297万円
ひとり親家庭等医療給付事業費	868万円

放課後児童クラブ事業

事業費1億2,183万円

学校教育課教育振興係

町では、保護者が昼間家庭にいない児童に対し適切な遊びと生活の場を確保するため、町内4つの放課後児童クラブに運営を委託しています。経済的に困難な家庭と多子世帯に対しては、放課後児童クラブ利用料の補助を行っています。

主な経費

運営委託料	1億1,822万円
放課後児童クラブ利用料補助金	295万円
など	

(2) 互いを尊重し合う福祉のまちづくり

高齢者世帯雪下ろし等支援事業

事業費225万円

健康福祉課高齢者福祉係

町が豪雪対策本部を設置した場合、雪下ろしが困難な高齢者世帯（町民税非課税）の経費に対して助成を行います。

- 対象世帯 ・70歳以上の高齢者世帯
 - ・身体障害者手帳1級又は2級所持者のみの世帯
 - ・70歳以上の高齢者と身体障害者手帳1級又は2級所持者のみの世帯
- 助成金額 1世帯あたり18,000円を上限に補助

主な経費

高齢者世帯雪下ろし等支援事業費補助金
225万円

自立生活支援事業 事業費125万円

健康福祉課高齢者福祉係

日常生活の援助を行うことにより、自立した生活を継続できるよう、また要介護状態にならないよう支援します。

- 対象者 65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方
 - 内 容 軽易な日常生活の援助（庭・庭木の手入れ、除雪 など）
 - 助成金額 1時間 766円～1,281円（事業内容により、助成額が異なります。）
- ※ シルバー人材センターに業務を委託しています。

主な経費

自立生活支援事業委託費 125万円

高齢者の総合相談支援 事業費3,244万円 (介護保険特別会計・地域支援事業)

健康福祉課高齢者福祉係

地域で暮らす高齢者の皆さんを介護、福祉、健康などさまざまな面から総合的に支えるため、社会福祉協議会に「河北町地域包括支援センター」の運営を委託しています。

高齢者の皆さんが、いつまでも健やかに、住みなれた地域で生活していけるように、地域包括支援センターを高齢者の相談窓口としてご利用ください。

■地域包括支援センターの主な業務

- ・関係機関と連絡調整し、必要な制度利用やサービスを紹介します。
- ・民生委員や地域の皆さんと連携し、高齢者の生活状況の把握や見守り支援を行います。

■こんな時は気軽にご相談ください。

- ・自宅での生活ができなくなった。
- ・介護サービスや総合事業の利用をしたい。
- ・介護放置や虐待の心配がある。
- ・成年後見制度を利用したい。
- ・近所の高齢者の生活が心配、家族が介護に困っている。

※担当：地域包括支援センター
(場所：総合福祉センター)

主な経費

地域包括支援センター運営業務委託費
3,236万円
など

障がい者（児）への自立支援

事業費3億3,255万円

健康福祉課社会福祉係

障がいのある人たちが必要とする障害福祉サービスの提供や、医療費支援（自立支援医療制度）、補装具費支給などを行います。

障害福祉サービスには、居宅介護（ホームヘルプ）・短期入所（ショートステイ）などがあり、障がいのある人たちの障がいの程度や生活環境などをふまえ、個別に必要なサービスの支給決定が行われます。

医療費支援（自立支援医療制度）は、心身の障がい除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する制度で、障がいのある人を対象とする更生医療制度と障がいのある子どもを対象とする育成医療制度があります。

補装具費支給では、障がいのある人の身体機能を補うために用いられる用具の購入費を助成し、就業・その他の日常生活を支援します。

主な経費

福祉サービスに要する費用	3億2,488万円
医療費支援（更生医療）に要する費用	250万円
医療費支援（育成医療）に要する費用	50万円
補装具費支給に要する費用	300万円
サービス等の給付決定に要する費用	167万円

障がい者（児）への地域生活支援事業

事業費3,953万円

健康福祉課社会福祉係

障がいのある人が、能力や適性に応じ自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の実情に応じて町が行う事業です。

町では、相談支援事業、日常生活用具給付等事業、意思疎通支援事業、障がい児通学等移動支援事業、身体障害者用自動車改造費助成事業、成年後見制度利用支援事業などを実施します。

主な経費

相談支援事業費	637万円	日常生活用具給付等事業費	750万円
意思疎通支援事業費	434万円	障がい児通学等移動支援事業費	1,729万円
			など

(3) 健康に暮らせる保健医療環境の確保

健康増進事業

事業費5,461万円

健康福祉課健康づくり係

病気の早期発見と生活習慣病の予防、健康づくりを推進するために、第3次健康かほく21行動計画に基づき健康診査や保健事業などを実施します。

- 各種健康診査（人間ドック、各種がん検診など）、事後指導を行います。
- 「胃がんの早期発見で健康長寿」胃の内視鏡検査を実施します。
- 生活習慣病の予防と重症化予防のために、健康教室（健康運動教室、健康づくりセミナーなど）の開催、健康相談を行います。
- 働き世代の生活習慣改善や、運動不足解消のため「代謝アップ教室」を実施します。
- 若年者への自殺対策として、「SOSの出し方に関する教育」を小・中学生を対象に実施します。
- 町民の主体的な健康づくりを推進するために「健康マイレージ事業」を実施します。
- 健康増進のため補助金を交付します。
 - ・がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費補助金
（ウィッグ）購入経費の1/2以内で上限2万円
（乳房補整具）購入経費の1/2以内で上限1万円
 - ・骨髄移植ドナー補助金 入院・通院等の日数に2万円を乗じて得た額で上限14万円
 - ・重粒子線がん治療患者支援事業費補助金 治療1件あたり上限62万8千円
- 後期高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施事業では、高齢者の方に合わせた介護予防と健康づくり事業を提供します。

主な経費

基本健康診査委託料	2,138万円
がん検診などの委託料	2,614万円
代謝アップ教室委託料	22万円
補助金交付事業	183万円
高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業費	44万円
	など

予防接種事業

事業費5,838万円

健康福祉課健康づくり係

感染症から守るために、各種予防接種を実施します。

- 母子免疫ワクチンとして、妊婦を対象にRSウイルスワクチンが新たに定期接種化となります。該当する方には、ご案内します。
- 高齢者インフルエンザワクチン接種、高齢者新型コロナワクチン接種は、10月から開始予定となっています。
- 希望による任意予防接種として、おたふくかぜ予防接種、こどもインフルエンザ予防接種（10月から開始予定）、大人の風しん抗体検査・予防接種（妊娠を希望する女性とその家族等を対象）について助成します。

主な経費

予防接種などの委託料	5,725万円
など	

母子保健事業

事業費2,659万円

こどもみらい課こども家庭センター

健やかに子供を産み育てるため妊娠・出産・育児までの、切れ目ない母子保健事業を実施します。

- 妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、多胎妊婦の健康診査、産婦健康診査（産後2週間、産後1か月）、1か月児健康診査の費用を助成します。
- 乳幼児健康診査、歯科健康診査のほか、パパママスクール、離乳食教室、育児相談を行います。
- 産後ケア事業を実施し、出産後の母子に対して、心身のケアや育児サポート等を行います。
- 妊婦支援給付金給付事業（妊娠届出時5万円、妊娠中5万円）を実施します。
- 性や妊娠に関する正しい知識の普及を図り健康管理を促すため、プレコンセプションケアに関する講演会を行います。

主な経費

妊婦健康診査委託料	776万円
産婦健康診査委託料	50万円
産後ケア委託料	99万円
妊婦支援給付金	700万円
など	



**国民健康保険事業(国民健康保険特別会計)
事業費19億4,048万円**

税務町民課国保医療係

国民健康保険は、病気やケガで医療機関等を受診する際に、自己負担額が一定程度に抑えられる社会保障制度です。医療保険を適用するための財源には、加入者が納める保険税などが充てられており、互助により成り立っている制度です。運営は都道府県と市町村が共同で行っています。町は保険者として、資格管理や保険給付のほか、健康保持増進（健康寿命の延伸）のための保健事業や、ジェネリック医薬品の利用促進などの事業を行い医療費適正化に努めています。また、小学生以上の国保加入者を対象に、町民プール・ひなの湯の利用券を配付するなど、健康維持のための支援も行っています。

主な経費

国保連合会への負担金や事務費	2,035万円
医療に対する給付費	14億7,670万円
県への納付額	3億9,499万円
人間ドックなどの保健事業費	3,703万円
	など

**後期高齢者医療事業(後期高齢者医療特別会計)
事業費3億8,199万円**

税務町民課国保医療係

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方を対象とした医療制度です。医療費の支払いなど主な事業の運営主体は、山形県後期高齢者医療広域連合になります。町は、さまざまな支給金にかかわる申請業務や保険料の徴収などを行い、負担金として山形県後期高齢者医療広域連合に納付しています。

主な経費

広域連合への負担金	3億7,428万円
	など

介護保険事業（介護保険特別会計・地域支援事業を含む） 事業費26億2,502万円

健康福祉課高齢者福祉係

介護保険制度は、老後生活の不安要因となっている介護を社会全体で支えあっていくことを目的としてつくられた仕組みで、町が保険者となり、65歳以上の保険加入者が納める1号保険料と、40歳～64歳の保険加入者が納める2号保険料や国、県、町が負担する公費を財源として運営しています。

町では独自サービスとして、失禁状態や寝たきりの方に紙おむつ等購入券を発行しており、在宅生活の支援や家族介護者の負担軽減を図っています。

主な経費

事務費	1,360万円
介護認定審査会費	1,926万円
介護給付費	24億9,225万円
地域支援事業費	9,708万円
	など

4 新たな魅力を発信しにぎわいのある町

(1) 次代につなぐ農林水産業

新規就農者育成・確保支援

事業費3,307万円

農林振興課農業振興係

これからの農業を担う意欲ある新規就農者の確保と経営発展を図るため、技術と経営ノウハウの習得、研修事業、研修時の農作業用設備などを支援します。また、町独自の支援として、農業機械の購入、農地の整備、農作業用小屋などの整備に支援し、新規就農者に対して総合的に支援します。

主な経費

新規就農者育成総合対策事業費補助金
2,925万円
新規就農者総合支援事業費補助金 200万円
など



就農に向けて研修の受入農家との打合せ

さくらんぼ生産の振興事業

事業費1,195万円

農林振興課農業振興係

さくらんぼの苗木導入への補助や、やまがた紅王を定植した園地での雨よけハウス施設の導入などの支援、葉面散布剤への支援など、異常気象に負けないさくらんぼ生産を目指して、安定生産と所得の向上を図ります。また、ミツバチの購入、花粉の購入、高温対策への資材などへの補助を実施し結実の確保を目指します。

主な経費

さくらんぼ結実確保緊急支援事業費補助金
600万円
さくらんぼ安定生産総合対策事業費補助金
270万円
さくらんぼ温暖化対応技術導入推進事業費補助金
325万円



さくらんぼトップセールスでの展示

枝豆・大豆栽培推進事業

事業費246万円

農林振興課業振興係

町の特産である枝豆や国が奨励している大豆について、さらなる産地化を図ります。
令和7年産は、前年に引き続き高温少雨により、枝豆や青大豆の収量に影響がありました。さらに物価高騰による資材高騰も考慮した支援を行い、引き続き枝豆と大豆の推進を図ります。

主な経費

枝豆・大豆栽培推進事業費補助金 246万円



枝豆トップセールス

農地継承支援事業

事業費100万円

農林振興課業振興係

農地を継承する際に、既存の樹木や施設などの撤去費用の負担が大きく継承のハードルとなっている現状があるため、処分経費に助成することで、農地を継承しやすくし、次作する農家の経営規模拡大と農地の耕作放棄地化を防ぎます。

主な経費

農地継承支援事業費補助金 100万円



樹木などの撤去・整地を支援します。

日本型直接支払事業

事業費9,351万円

農林振興課農村整備係

農業・農村が持つ国土保全や水源かん養などの多面的機能の維持・発揮のために行う地域の共同活動や営農活動を支援する施策で、次の3つの直接支払で構成されています。

■環境保全型農業直接支払交付金

化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組と併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の取組を行う農業者の組織する団体などを支援します。

■中山間地域等直接支払交付金

農業生産条件の不利な中山間地域において、集落を単位に農用地を維持・管理するための取決めとなる協定を締結し、それにしたがって将来に向けた農業生産活動の継続を支援します。

■多面的機能支払交付金

地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、農地、水路、農道などの地域資源の質的向上を図る活動を支援します。

主な経費

環境保全型農業直接支払交付金	538万円
中山間地域等直接支払交付金	241万円
多面的機能支払交付金	8,572万円



白鳥が飛来する冬期湛水圃場

有害鳥獣被害対策推進事業費補助金

事業費100万円

農林振興課農村整備係

有害鳥獣による農作物被害を防止するため、電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置する農業者等に対し、設置に要する経費の1/2（20万円を限度）を補助します。

主な経費

有害鳥獣被害対策推進事業費補助金	100万円
------------------	-------

(2) やる気で稼ぐ仕事おこし

創業及び企業支援 事業費785万円 商工観光課地域産業振興係

金融機関より融資を受け、町内で新規起業する方を対象に、対象経費に係る補助金及び融資に対する利子補給金を交付します。補助金及び利子補給金合計500万円を上限とします。

利子補給対象期間を最長10年とすることで起業者のみらいを支援する体制を構築します。

また、地域の特産品開発、店舗の魅力アップ、イベント開催などにより、産業の活性化やにぎわいの創出に寄与する事業を行う企業へ補助金を交付し、町内産業の活力アップを図ります。

主な経費

みらい応援創業支援事業費補助金 631万円
活力と魅力ある産業・企業支援事業費補助金 150万円
など

雇用促進補助金 事業費150万円 商工観光課地域産業振興係

本町における産業の振興及び雇用の拡大を図るため、町民の方を正規社員として採用し1年以上雇用した町内企業に、1名につき10万円の補助金を交付します。また、やまがたイクボス同盟に加盟し、かつ、やまがたスマイル企業の認定を受けている企業の場合には、2万円～5万円の加算金があります。

主な経費

雇用促進補助金 150万円

新規学卒者就職奨励金 事業費50万円 商工観光課地域産業振興係

新規学卒者の就職支援として、町内に住所を有する新規学卒者の方が、町内の企業に就職し6か月以上就労された場合、10万円の奨励金を交付します。

主な経費

新規学卒者就職奨励金 50万円

(3) 地域の宝を活用した発信

児童動物園

事業費2,787万円

商工観光課観光振興係

児童動物園は、山形県唯一の動物園で、ニホンジカをはじめポニー、ウサギ、やぎ、ひつじなど約30種類の動物たちを見て楽しむことができます。また、令和8年度は、かほくまなび館ずーいくにおいて、各種イベントなどを行うとともに、令和7年度から継続して放鳥舎壁面の修繕を行います。

主な経費

飼育員報酬	1,170万円
動物の餌代	160万円
光熱水費	300万円
施設の管理委託料	333万円
放鳥舎壁面修繕工事（繰越明許）	484万円
など	



モルモットレース

ひなの湯

事業費2億7,249万円

商工観光課観光振興係

平成11年にオープンしたべに花温泉ひなの湯は、「山形県で名高い、あったまり温泉」として県内外から多くのお客様に好評をいただいております。そのほかサウナや宴会場、休憩室、お食事処などもご利用いただけます。

令和8年度は、新たな第3号源泉掘削工事を行い、令和9年度に実施する温泉動力装置設置工事のための許可申請に伴う資料作成業務を委託します。また、休憩室(44畳)改修のために工事設計業務を委託します。

主な経費

指定管理料	4,200万円
源泉掘削工事	2億2,330万円
温泉動力装置許可申請委託料	198万円
工事設計委託料	407万円
修繕料	100万円
など	

ひなの宿

事業費841万円

商工観光課観光振興係

平成22年にオープンしたひなの宿は、源泉掛け流し温泉のある宿泊施設としてご利用の皆さまから好評をいただいております。

令和8年度は、客室用エアコンと給水ポンプの更新を行います

主な経費

管工事(エアコン・給水ポンプ)	710万円
修繕料	100万円
など	



開業27周年を迎えるべに花温泉ひなの湯

谷地ひなまつり

事業費175万円

商工観光課観光振興係

紅花交易による当時の繁栄ぶりを物語るのが、今も町内の旧家に残る雛人形の数々で、享保雛、次郎左衛門雛、御所人形など、それぞれの家で代々受け継がれてきた格調高い時代雛がひな市通りを中心に一般公開します。

また、ひな供養の神事をはじめ、木目込人形の制作体験や人形制作実演などを開催します。

主な経費

河北町観光物産協会補助金 175万円



谷地ひなまつり

谷地どんがまつり

事業費845万円

商工観光課観光振興係

谷地八幡宮では林家舞楽が奉奏されます。

また、2日目には勇壮な奴を先頭に御神輿、稚児などの祭礼行列や囃子屋台が町を練り歩き、最終日は囃子屋台の競演などで祭りのフィナーレを飾ります。今年は中部地区が当番です。

主な経費

河北町観光物産協会補助金 845万円



谷地どんがまつり

道の駅河北

事業費1,070万円

商工観光課観光振興係

国道287号線の町の東の玄関口に、最上川を目の前にした道の駅河北「ぶらっとぴあ」があります。

1階では、冷たい肉そばやスリッパなどのお土産物や軽食の販売のほか観光案内をしています。2階では、珍しいスリッパ卓球などの体験を無料で楽しんだりできます。3階の食堂では、最上川や雄大な景色を眺望しながら、町の名物の冷たい肉そばやソースかつ丼などをお召し上がりいただけます。

令和8年度は、照明器具の一部をLED化する工事を行います。

主な経費

指定管理料 750万円
LED照明・誘導灯更新工事 290万円
修繕料 30万円



道の駅かほくのスリッパ卓球

5 ふるさとに学び次代につなぐ町

(1) 家庭・地域と連携した学校教育

学校給食センターの運営

事業費1億8,250万円

学校教育課学校給食センター

学校給食を通じて、児童・生徒の健全な心身の発達や良い食習慣を身につけてもらうために、栄養バランスのとれた安全で美味しい給食を提供します。また、食への関心を深めるため、栄養教諭による小中学校への毎月の給食指導や食育授業、生産者との交流給食会を計画的に行います。

町内の小学校6校及び中学校1校に、1日およそ1,300人分の給食を提供します。給食の調理及び各学校への運搬業務は委託をします。

ご飯は山形連携中枢都市圏8市町による「山形広域炊飯施設」で炊飯したものを、令和4年度から提供しています。町産のはえぬき、つや姫を使用し地産地消に努めています。

毎月「郷土料理・特産物を味わおう」というめあてを設定し、旬の食材、食文化に関心を持つことができるよう、秘伝大豆、紅花若菜、さくらんぼ、おとめ心などの町産食材を使用する献立を工夫します。

令和5年度から実施している、町内、町外小中学校に就学する児童生徒の学校給食費全額支援を継続して実施します

主な経費

給食調理等業務委託	6,450万円
給食物資調達業務委託	8,832万円
施設管理経費	2,722万円
など	



交流給食会のようす

学校生活サポート強化事業

事業費4,386万円

学校教育課教育振興係

児童生徒一人一人の個性を生かす教育の促進や発達障がいの早期発見に努め、その特性に応じた指導を行うため学習生活指導補助員の配置、学校生活などの悩みの相談や関係機関との連携を行います。

主な経費

会計年度任用職員報酬・手当	4,265万円
スクールソーシャルワーカー・教育相談員謝礼	44万円
など	

ICT教育推進事業

事業費2,389万円

学校教育課教育総務係

児童生徒一人一台のタブレット端末の整備(令和8年3月更新)や電子黒板やネットワークの整備を行い、ICTを活用した教育を推進します。

主な経費

タブレット端末等賃借料	622万円
電子黒板賃借料	99万円
タブレット端末等運用支援業務委託料	381万円
ICT支援員配置業務委託料	162万円
学習支援システム使用料	465万円
連絡網システム使用料	63万円
学校ネットワークセキュリティ対策機器賃貸借	343万円
など	

子どもの読書活動推進事業

258万円

学校教育課教育総務係

子どもの読書に親しむ機会をより多く提供することにより、子どもの豊かな心を育むことを目指し、学校図書館の充実を図るとともに小学校に入学する新1年生に絵本を1冊ずつプレゼントします。

主な経費

小中学校図書館図書購入	244万円
プレゼント用絵本購入	14万円

谷地高支援事業

事業費1,285万円

学校教育課教育振興係

谷地高等学校の学校存続と魅力と特色ある学校づくりにつながる取り組みについて、町による就学・学習・通学への各種支援や、「谷地高等学校を支援する会」をはじめとした地域による支援の体制をつくり、地域の人材育成を担う学校づくりを支援します。

主な経費

楽弁支援事業委託料	120万円
就学応援券給付事業委託料	364万円
通学助成補助金	60万円
県外生募集・受入のための経費	248万円
など	

人材育成若者定着促進事業

(債務負担行為)

学校教育課教育総務係

有為な人材の育成を図るとともに、将来の担い手となる若者の町内定着を促進するため、経済的理由により進学及び就学が困難な大学生などが、大学などを卒業後一定期間河北町に在住した場合に、500万円以内で一人100万円を上限に支給する給付金事業の支給対象者を募集します。

主な経費

人材育成若者定着促進事業給付金 (債務負担行為)	500万円
-----------------------------	-------

(2) 地域に根ざした生涯学習

生涯学習振興事業

事業費150万円

生涯学習課生涯学習係

かほく町民大学ひなカレッジは、町民有志が実行委員となり、企画・運営する生涯学習講座です。実行委員会を月1回開催し、河北町らしさや独自性にこだわり、工夫を凝らした講座を提供します。

令和8年度の大講座では、柳家花緑氏独演会を予定しています。その他講座の詳細は、パンフレットやチラシ、町のホームページ等で随時お知らせします。

主な経費

ひなカレッジ実行委員会補助金 150万円



令和7年度大講座「高尾美穂氏講演会」

各種スポーツ大会の開催

事業費360万円

生涯学習課スポーツ振興係

より多くの町民がそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむ機会の充実を図るため、各種スポーツ大会を開催します。今年のべに花マラソン大会は6月14日(日)に開催します。
※ べに花マラソン大会以外の主な大会 区対抗総合スポーツ交流大会・西村山地区駅伝競走大会 など

主な経費

記念品代、謝礼	127万円
委託料	178万円
大会負担金	39万円
など	



べに花マラソン大会

生涯スポーツの振興 事業費586万円

生涯学習課スポーツ振興係

河北町スポーツ少年団、河北中学校生徒、河北町スポーツ協会加盟団体及び河北スポーツクラブのスポーツ活動を支援します。

加えて、スポーツの全国大会、国際大会に出場する選手に激励金を交付します。

主な経費

大会激励金	60万円
垂れ幕作成費	72万円
活動補助金	451万円
など	

町民体育館の改修 事業費2億4,387万円

生涯学習課スポーツ振興係

令和6年度に策定した長寿命化計画をもとに、今年度は外壁、屋根等外部改修工事を実施します。

主な経費

工事請負費（外部改修工事）	2億3,780万円
監理費	607万円

休日部活動の地域への展開

事業費629万円

生涯学習課スポーツ振興係

今年度から中学校部活動は、部活動改革の「改革実行期間」に入り、休日（土曜日、日曜日、祝日）における活動ができなくなります。

そのため、休日部活動の代替りとなる「地域クラブ」の活動を支援し、中学生が活動できる場の確保と、中学生にとって望ましい環境の整備をしていきます。

※ 河北町中学校地域クラブについては、町のホームページで随時お知らせします。

主な経費

講師謝礼	3万円
謝礼（コーディネーター、検討委員）	
	30万円
地域展開推進事業補助金	596万円



休日は地域クラブ活動に展開！

(3) 歴史と文化の継承

サハトベに花

事業費1,198万円

生涯学習課生涯学習係

■プラネタリウム等の上映及びイベントの実施

サハトベに花全天周劇場では、県内最大・直径15メートルのドームを使って、プラネタリウム上映と高解像度プロジェクターによる全天周映像番組を上映しており、プラネタリウムは、令和7年度に10周年を迎え、機器の更新を行いました。最新鋭の機器を使った星空解説や恐竜番組、星座番組など新番組を取り入れながらこれからも上映してまいります。

また、季節に合わせた天体観測や探求学習などのイベント、山形大学を拠点に活動しているNPO法人小さな天文学者の会と連携した講座なども企画します。

■文化事業の開催

優れた芸術文化に触れる機会として、令和8年度は「秋川雅史コンサート」を予定しております。町内合唱団との共演もあり、親しみやすいクラシックコンサートを実施する予定です。また、NHK「新・BS日本のうた」の公開収録も行われます。詳しい日程・内容は、町報やチラシ等で随時お知らせします。

主な経費

プラネタリウム等の上映	475万円
プラネタリウム関連のイベント	330万円
文化事業の開催	393万円



県内最大のドームでプラネタリウム上映

町誌編さんの仕事

事業費246万円

企画財政課広報広聴・統計係

町内に残る貴重な古文書や資料を、町誌編さん委員が整理し、町史資料として発行しています。

また、町の歴史について町民の皆さんがより親しみやすいものとなるよう町誌編さん委員が主体となって「町の古文書を読む」などの歴史講座を開催します。

主な経費

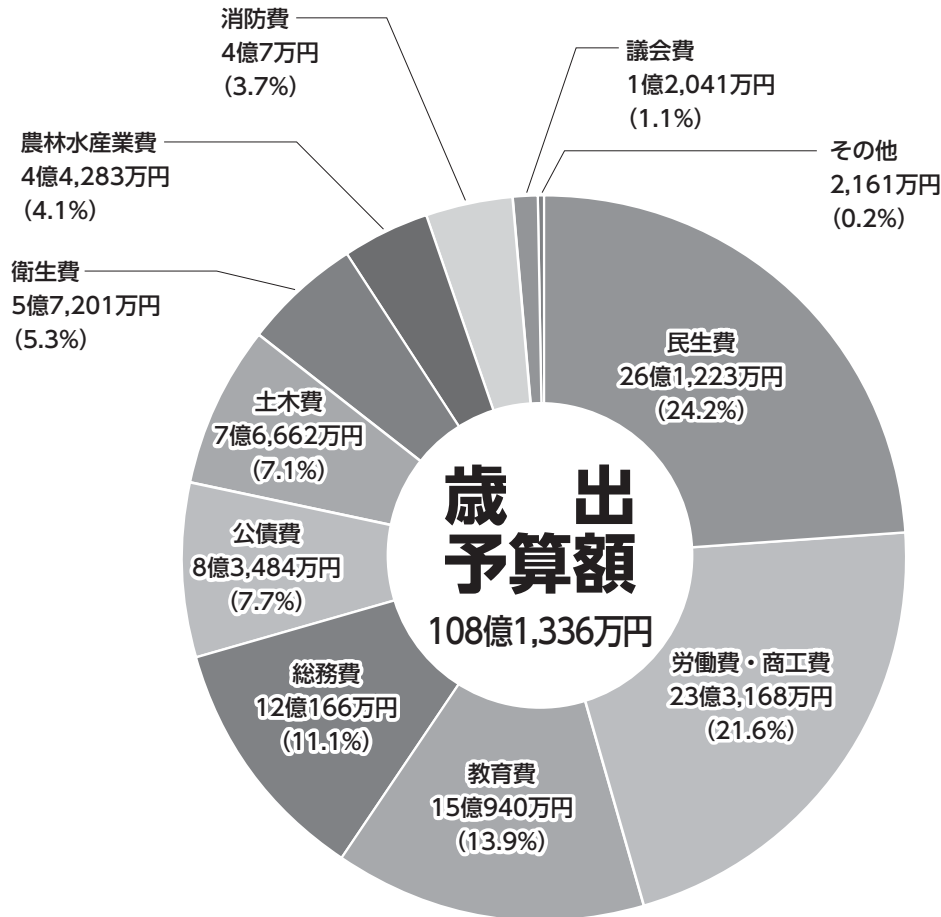
町誌編さん委員報酬	33万円
会計年度任用職員報酬・手当	175万円
など	



令和6年度に発行した町制施行70周年記念誌「未来へつなぐ河北のあゆみ」

グラフでみる令和8年度当初予算

一般会計歳出



一般会計 歳出

- 総務費** 課税・徴収、選挙、統計、住民登録など、町の総括的な事務に使う費用
- 民生費** 子どもや高齢者、障がい者など福祉全般の事務・事業に使う費用
- 衛生費** 保健衛生やごみ処理など、安全で衛生的な生活のために使う費用
- 農林水産業費** 農産物の生産振興や農地管理などに使う費用
- 商工費** 商工業や観光の振興に使う費用
- 土木費** 道路や公園整備などに使う費用
- 教育費** 学校の運営費や公民館など、教育全般の事務・事業に使う費用
- 消防費** 消防や防災対策などに使う費用
- 公債費** 過去に借り入れた借入金の支払いに充てる費用

特別会計

名称	歳入歳出予算額
国民健康保険	19億4,048万円
西里財産区	154万円
介護保険	26億2,502万円
後期高齢者医療	3億8,199万円

水道会計 (企業会計)

収益的収入	4億9,073万円	資本的収入	636万円
収益的支出	4億8,579万円	資本的支出	8,116万円
差引額	494万円	差引額	△7,480万円

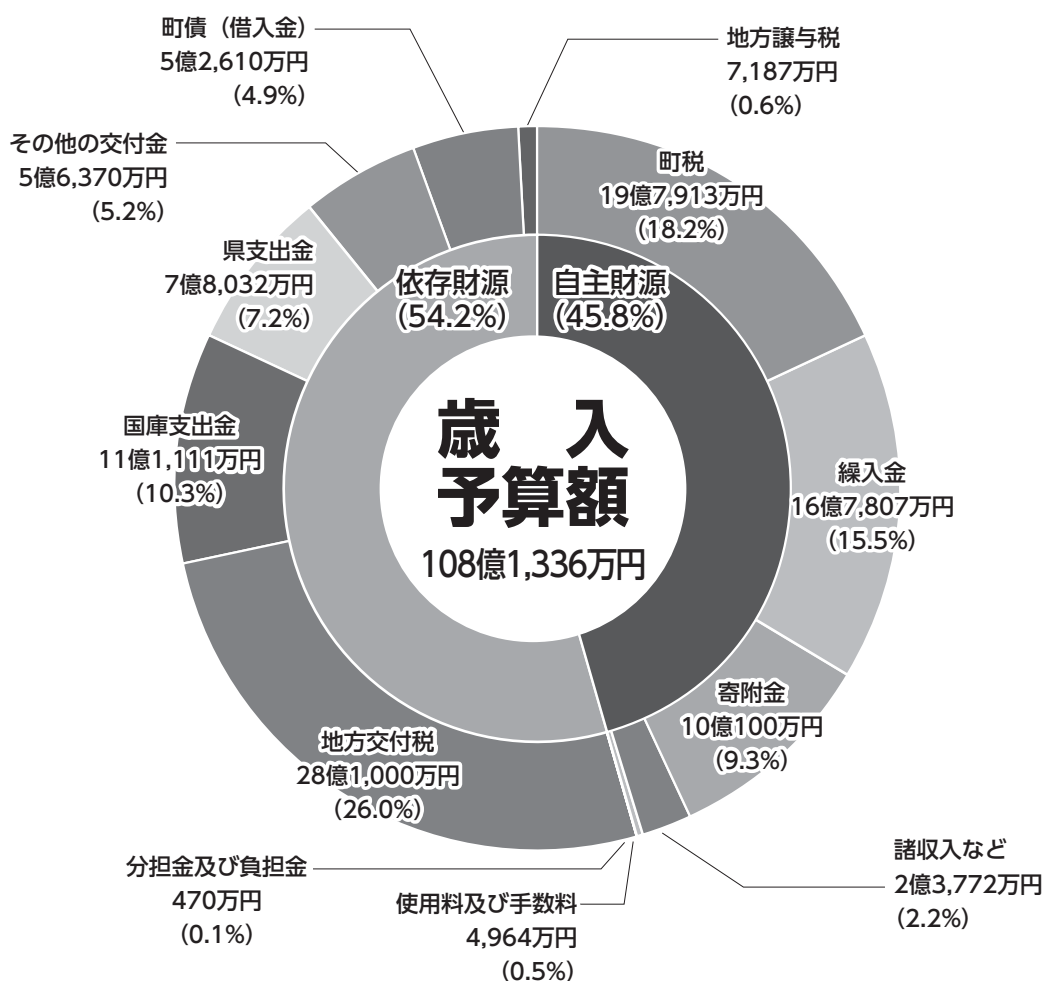
(不足額は損益勘定留保資金などで補てん)

下水道会計 (企業会計)

収益的収入	6億2,853万円	資本的収入	2億4,115万円
収益的支出	6億2,853万円	資本的支出	4億2,432万円
差引額	0万円	差引額	△1億8,317万円

(不足額は損益勘定留保資金などで補てん)

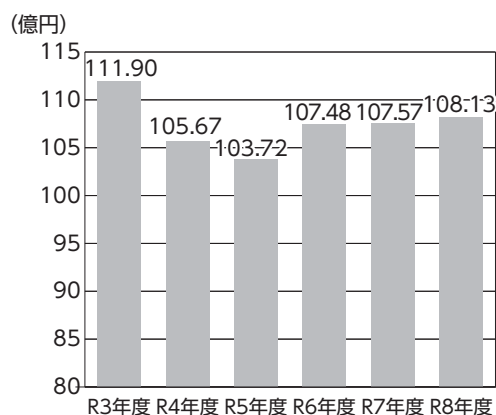
一般会計歳入



一般会計 歳入

- 町税** 町民の皆さんが町に納める税金
- 繰入金** 特別会計や基金などから一般会計に繰り入れるお金
- 寄附金** 他の市町村に住んでいる方からのふるさと納税など
- 分担金・負担金** 施設入所者の自己負担金など特定の利益を受けた方から負担していただくお金
- 使用料・手数料** 皆さんが町の施設や証明書発行の際に窓口で支払う手数料など
- 地方交付税** 国税の中から、町の行財政状況に応じて交付されるお金
- 町債** 町が借り入れるお金
- 地方譲与税** 国が国税として徴収した税金のうち、町に配分されるお金
- 国庫・県支出金** 特定の事務・事業の財源として、国や県から交付されるお金

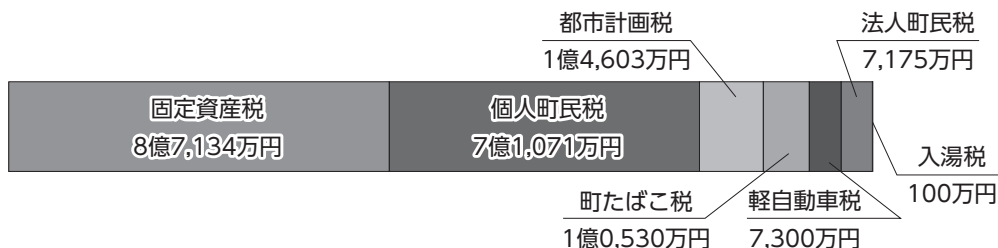
一般会計当初予算額の推移



○町の税金の内訳 19億7,913万円

町民1人あたりの町税額120,290円（令和8年1月31日の人口16,453人）

町税収入の内訳をみると、固定資産税が8億7,134万円で税収の44.0%を占め、次いで個人町民税が7億1,071万円、都市計画税が1億4,603万円、町たばこ税が1億530万円となっています。

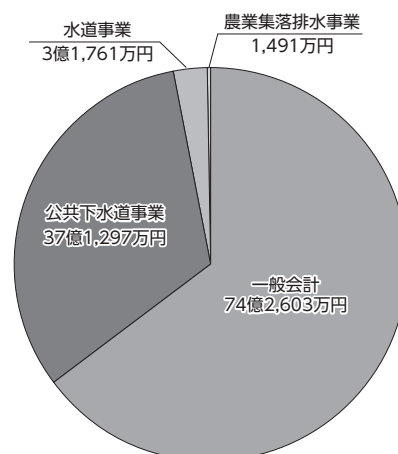


○令和7年度末借入金残高見込み 114億7,152万円

町民1人あたりの借入金額697,230円（令和8年1月31日の人口16,453人）

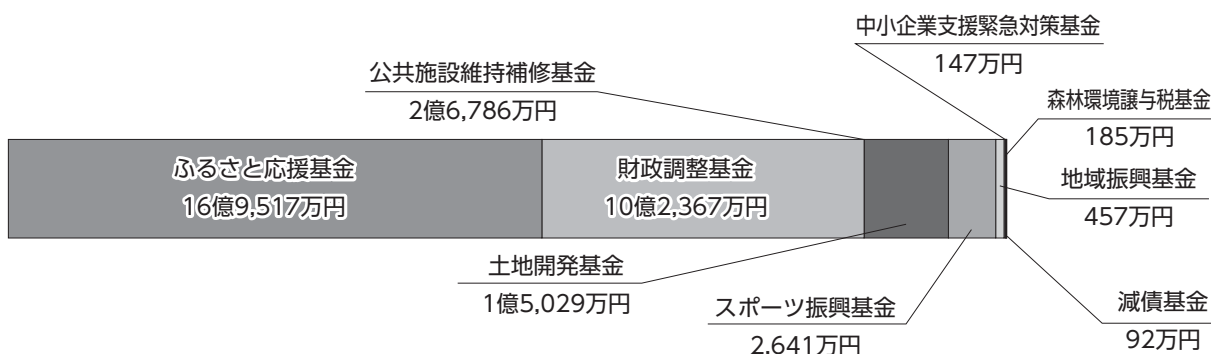
町債（借入金）の残高は、令和7年度と比べると9,904万円減少する見込みです。

自治体では、その年で使うお金は同じ年度に得る収入（町税や地方交付税など）で賄わなければならないため、多額の費用を必要とする公共事業を通常の収入で賄うことはできません。そこで、公共事業を行うときに限り借入れをすることが認められています。



○一般会計の基金（貯金）の残高

令和7年度末見込み額 31億7,221万円



○職員の数

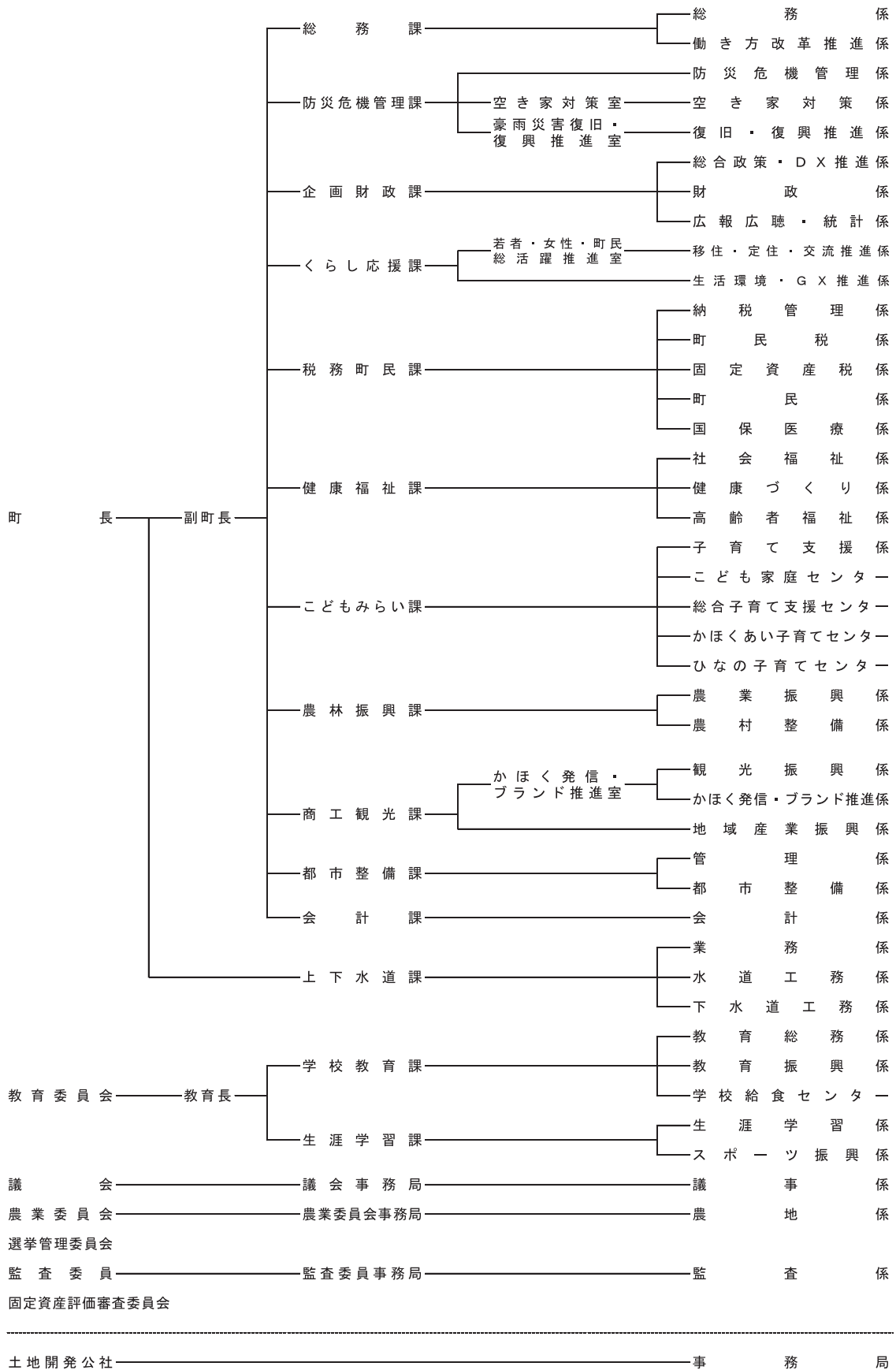
河北町定員管理計画（令和8年度～令和12年度）では、職員数の目標を160人としています。

令和7年4月1日現在職員数 159人（153人）

※ 括弧内は、育児休業中の職員、県からの派遣職員、国及び県への派遣職員を除いた人数

河北町行政機構図

(令和8年度)





一目でわかる今年のしごと～わかりやすい令和8年度河北町予算説明書～は町のホームページでも公開しています。左のQRコードから簡単にアクセスできます。PC・タブレット・スマートフォンなどでぜひご覧ください！



編集 企画財政課財政係 TEL 0237-73-2111 FAX 0237-72-7333
URL <https://www.town.kahoku.yamagata.jp>

